

【平成30年度矢口小学校授業改善プラン】

図画工作科における平成29年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

- ・参考作品などを例示することで、児童はお気に入りの形や色を見つけ、自分の作品に生かすことができていた。
- ・自分や友達作品を見つめ、多様な表し方や工夫の仕方に気づけるよう引き続き指導していく必要がある。

図画工作科における内容別・観点別分析

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
観点別結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・材料に対する関心が高く、意欲的に制作に取り組んでいる。 ・根気強く試行錯誤を続けながら作品と向き合う姿勢を、さらに伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいイメージに合わせて材料や色を選んでいる。 ・表したいイメージを具体的にアイデアスケッチに表し計画的に制作する力に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体を働かせ、材料を組み合わせたり形を変えたりして作っている。 ・材料や絵の具と親しむ活動に終止してしまう場面が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品の良いところに気づき、言葉で表している。 ・友達の作品を見つめて気づいた良い点を、自分の作品制作に活かす機会がやや少ない。

授業改善のポイント

分析を受けて、取り組む柱

- ・試行錯誤を重ねながら、根気強く作品と向き合う姿勢を持たせる。
- ・意図的に材料を組み合わせたり色を選んだりする発想や構想の能力を伸ばす。
- ・自分や友達作品を見つめ、多様な表し方や工夫の仕方があるということ気づけるようにする。

図画工作科の授業改善策

<中・高学年>

- ・友達と話さず黙々と制作に取り組む時間を設けることで、試行錯誤の機会を与える。
- ・作品が完成したときだけでなく、制作の途中にも鑑賞の時間を設ける。鑑賞によって気づいたことを自分の作品制作に活かせるように働きかける。

<中学年>

- ・題材のテーマを具体的に設定し、児童が意図を持って制作しやすいように授業の導入を行う。

<高学年>

- ・題材のテーマに関する資料を児童自身が集めて、自分の作品に活かせるよう指導する。

平成30年度の成果と課題

・

・